

基本目標Ⅰ 男女共同参画への意識づくり

1 男女平等の意識づくりの推進

【現状と課題】

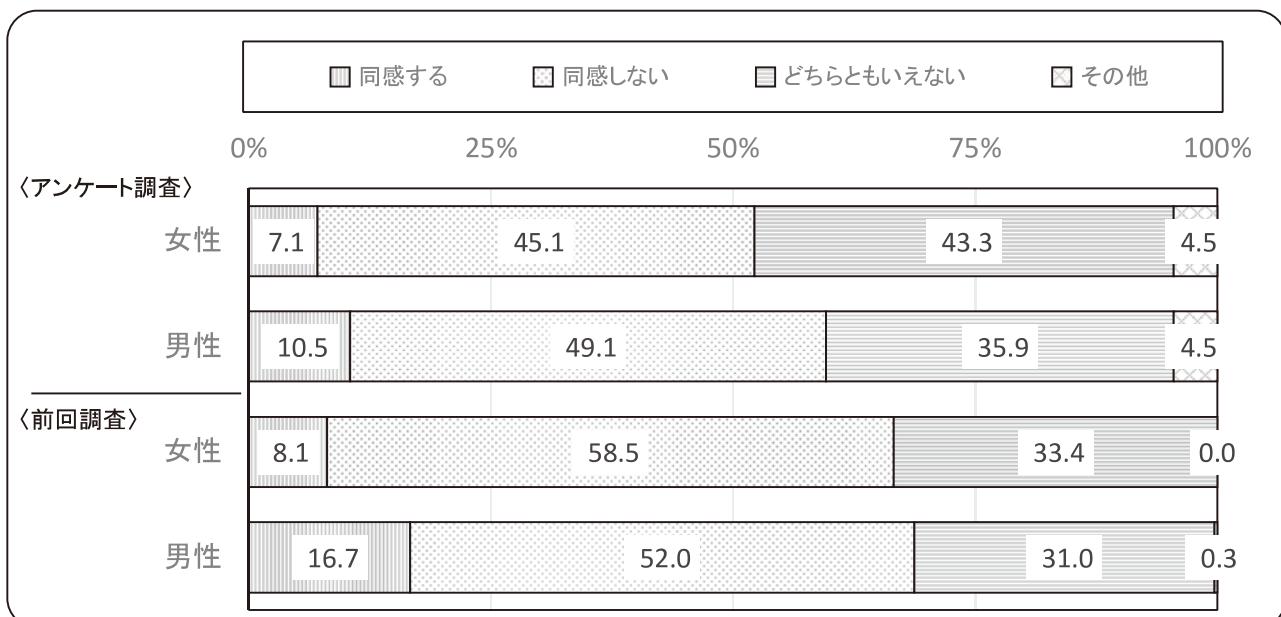
「男は仕事、女は家庭」という考え方で代表される「固定的性別役割分担意識」は、女性も男性も意欲や希望に沿って個性と能力を発揮して、その人らしく生きていくのを困難にするものであり、その解消に向けて努力することが非常に重要です。

「蓮田市 男女共同参画に関する意識調査」（2015年（平成27年）12月、以下本書中では「アンケート調査」と略記します）で上記の考え方についての意見を尋ねたところ、女性の7.1%、男性の10.5%が「同感する」と回答しました。2005年（平成17年）に実施された「蓮田市 男女平等に関する意識調査」（以下「前回調査」と略記します）の結果と比べ、この10年間に固定的性別役割分担意識が解消しつつあることがうかがえます。

本市においては市広報誌『広報はすだ』等での意識啓発や男女共生情報紙『ぱすてる』の発行、男女共同参画社会講演会の開催などを実施していますが、今後もこれらを継続し、さらに充実した意識啓発活動に力を入れていくことが大切です。

また、「男女共同参画社会」実現のためには、市民の間で相互理解が進むことも重要な条件となります。そのため、男女平等についての関係図書や啓発資料の収集を進め、情報提供に努めることが必要です。

「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。



資料：アンケート調査 問5

【具体的施策】

(1) 固定的性別役割分担意識の解消

固定的性別役割分担意識の解消の必要性について広く市民の理解を深め、市の広報誌等を活用して啓発・広報活動を行います。

*この欄の中で、
継続 … 現在実施していて、今後も継続し充実を図る取組
新規 … 新たに実施する取組【新規】
をそれぞれ意味します。（本章中では、以降同様です。）

番号	取 組	担 当 課	区 分
1	講演会等の開催	庶務課	継続
2	広報誌等での意識啓発	庶務課	継続
		関係各課	継続
3	啓発冊子の発行と充実	庶務課	継続
4	市民への意識啓発	庶務課	新規
		関係各課	新規

(2) 男女平等に関する情報の収集と提供

男女平等に関する資料や出版物の収集に努め、幅広い分野から情報を提供します。

番号	取 組	担 当 課	区 分
5	情報の収集と提供	庶務課	継続
		図書館	継続
6	男女平等に関する制度についての普及啓発	関係各課	継続

基本目標Ⅰ 男女共同参画への意識づくり

2 男女平等を育む教育の推進

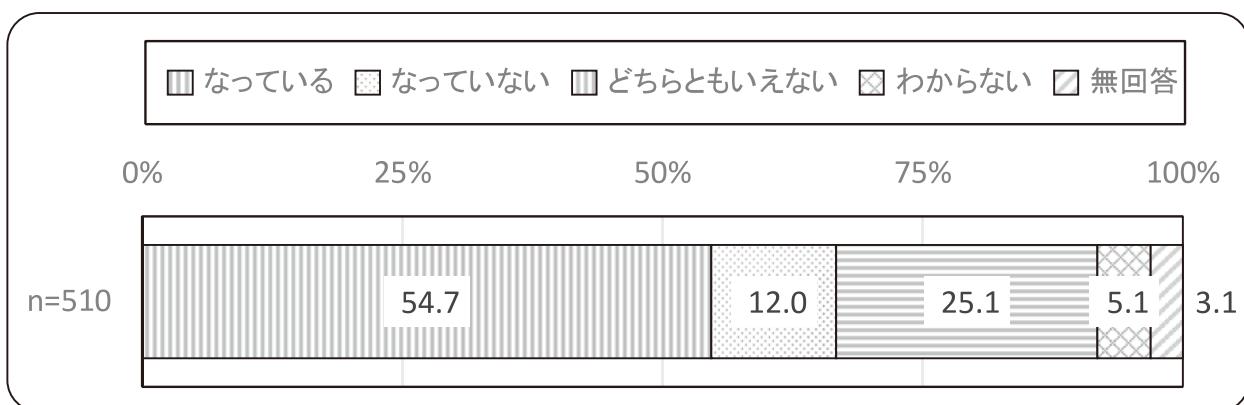
【現状と課題】

男女平等意識は、子どもの頃からの日常生活の中で形成されるものであり、「男女共同参画社会」づくりのために、「家庭」は人にとっての最初の教育の場として重要な役割を果たします。そこで、「女の子だから、男の子だから」ということなく「個性」が育まれ、一人ひとりが「人間」として自立できるよう、家庭教育の担い手である両親等の保護者への男女平等意識の浸透が期待されます。

学校教育は、女性と男性が平等に個性を發揮し能力を伸ばしていくうえで重要な役割を担っています。アンケート調査の結果をみると、「教育において、男女の地位が平等になっていると思いますか」という質問で、「平等になっている」と答えた人が54.7%と最も多く、「平等になっていない」という回答(12.0%)を大きく上回っています。今後も、人権尊重や男女平等意識に基づく学校教育のいっそうの充実に努めていく必要があります。

他方、社会教育は“生涯学習”的一環として、学習意欲のある市民があらゆる機会を通じて、自主的に行う学習のことと言います。市では総合的な支援を図っていますが、男女平等・男女共同参画の視点による学習内容・学習機会の確保が必要です。

教育の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。



資料：アンケート調査 問4

【具体的施策】

(1) 家庭における男女平等教育の支援

家庭教育に関する情報や学習機会の提供を図るとともに、家庭教育に関する相談機能の充実に努めます。

番号	取組	担当課	区分
7	保護者への意識啓発	関係各課	継続
8	家庭教育に関する情報や学習機会の提供	関係各課	継続
9	家庭教育に関する相談機能の強化	関係各課	継続
10	男性の家事・育児・介護への参加を促す講座等の開催	関係各課	継続

(2) 男女平等意識を育む学校教育等の推進

教職員に対する男女平等教育に関する研修の充実を図り、子どもが性別にとらわれず、自己の進路に対する目的意識を高められるよう、進路指導の充実に努めます。

番号	取組	担当課	区分
11	教職員に対する研修の充実	学校教育課	継続
12	教育内容や教育方法の改善充実	学校教育課	継続
13	一人ひとりの個性を生かす教育の充実	学校教育課	継続
14	男女混合名簿の実施	学校教育課	継続
15	男女平等の意識を促す教育の充実	学校教育課 子ども支援課	新規 新規

(3) 男女平等をめざした社会教育の充実

男女共同参画の視点を取り入れた各種講座などを開催し、男女平等に関する啓発を行い、男女共同参画を進める意識づくりを推進します。

番号	取組	担当課	区分
16	男女共同参画の視点を取り入れた生涯学習事業の推進	社会教育課	継続
17	人権尊重教育・啓発の充実	庶務課 社会教育課	継続 継続

基本目標 | 男女共同参画への意識づくり

3 男女の人権の尊重

【現状と課題】

近年、特に問題になっている女性と男性の間における暴力として、配偶者などの暴力（ドメスティック・バイオレンス（以下「DV」と略記します））、日常生活における様々なハラスメント、ストーカー行為などが挙げられます。

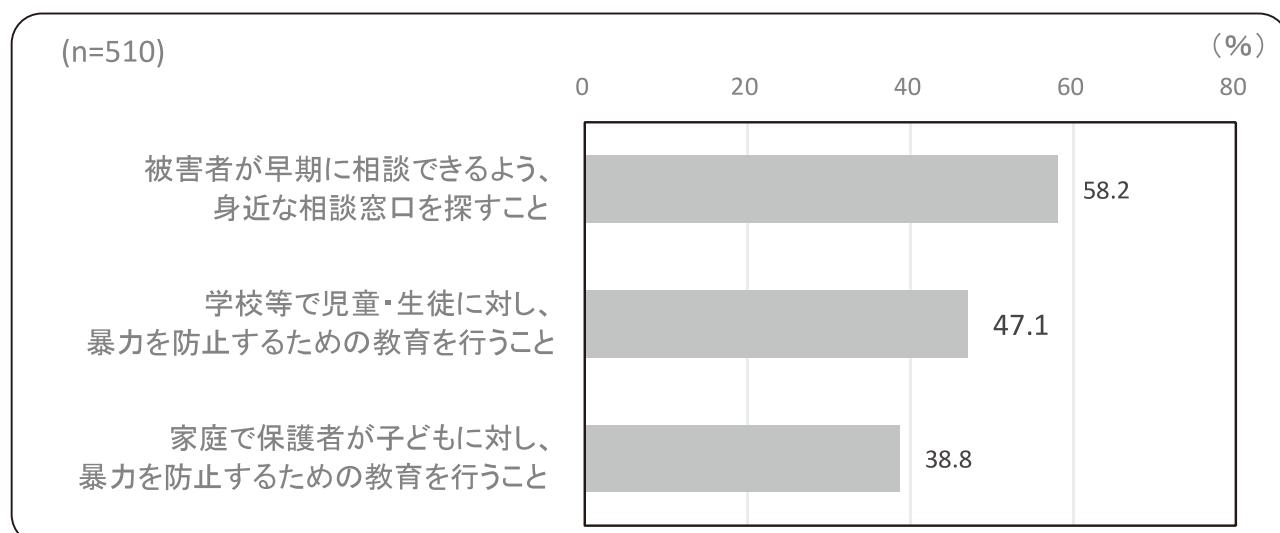
これらの行為の被害者の大部分は女性ですが、そうした被害者は今まで、身体的、性的、心理的、経済的な暴力や苦しみを人知れず抱えてきました。

アンケート調査において「配偶者などの間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか」という質問をしたところ、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を整備したり、暴力を防止するための教育を行うこと」との答えが多く、市民の間で、相談・支援体制の充実を望む声が多いことがうかがえます。

DVの対策については、34ページ以降の「蓮田市配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画」において定めています。

配偶者などの間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

（複数回答）



資料：アンケート調査 問16

【具体的施策】

(1) あらゆるハラスメントの根絶

ジェンダー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメントなどが「人権侵害」であるという意識の啓発を図り、それらに関する情報提供に努めます。

番号	取 組	担 当 課	区 分
18	ジェンダー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等の防止啓発	庶務課	継続
		秘書課	継続

(2) 人権を尊重する意識啓発

市刊行物などにおける性差別的な表現等を、適切な表現への配慮や意識の改善を図り、女性に配慮した防災・防犯体制のあり方や構築の方法について、研究を行います。

番号	取 組	担 当 課	区 分
19	男女共同参画の視点に立った情報提供に関する留意	庶務課	継続
		関係各課	継続
20	女性に配慮した防災・防犯体制の推進	庶務課	継続
		危機管理課	継続
		消防課	継続
21	「性の多様性」に対する理解の促進	庶務課	新規

(3) 相談体制の充実

被害を受けた女性のため、プライバシーが確保された相談・支援体制の充実を図り、男女共同参画の視点の徹底を図るため、相談員に対して研修等を実施します。

番号	取 組	担 当 課	区 分
22	相談・支援体制の充実	庶務課	継続
		秘書課	継続
		関係各課	継続